

太陽

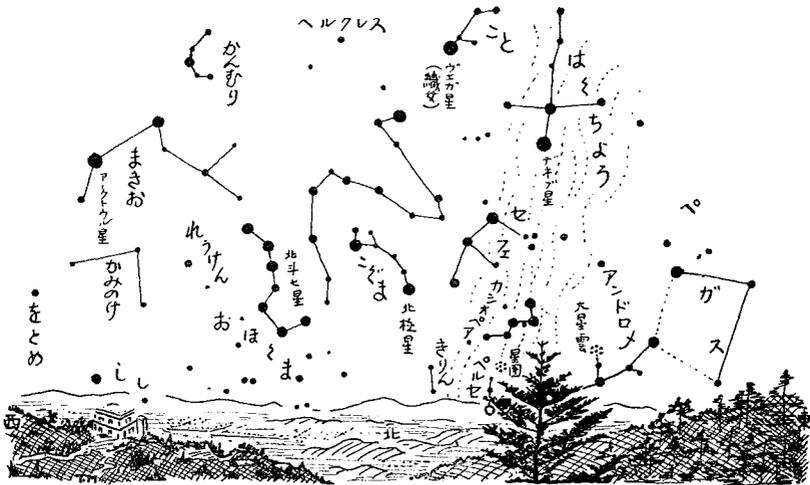
日	赤 經	赤 緯	視直經	星 座
(30)	8時33分30秒	北18度47分	31分34秒	か に
9	9時12分 8秒	北16度11分	31分36秒	か に
19	9時49分49秒	北13度 8分	31分40秒	し し
29	10時26分40秒	北 9度45分	31分44秒	し し

太陽は月始めは、獅子宮に在るが、二十四日からは處女宮に侵入する。日の出は少しづつ遅れて、一日に五時五分、十一日に五時十三分、二十一日に五時二十分、三十一日に五時二十八分となる。又た、日の入りは、逆に早くなつて行つて、一日に七時一分であつたのが、十一日には六時五十一分となり、二十一日には六時三十九分、三十一日には六時二十七分となる。更らに、朝や夕の薄明の時間は先月より少し短くなつて、大體一時間三十分程である。

月

月の相	時 刻	視直徑	星 座
下 弦	7日午前 1時28分	29分56秒	ひ つ じ
新 月	14日午前 5時27分	32分58秒	し し
上 弦	20日午後 8時36分	31分45秒	てんびん
満 月	28日午後 0時 9分	29分39秒	みづがめ
遠地點通過	3日午後 4時48分	29分30秒	う を
近地點通過	15日午後 6時54分	33分 7秒	し し
遠地點通過	31日午前 6時24分	29分26秒	う を
昇交點通過	4日午前 0時 0分	29分30秒	う を
降交點通過	17日午前 7時36分	32分57秒	を とめ
昇交點通過	31日午前10時 6分	29分26秒	う を

月の出は、一日午後十時二十分、八日午前五時二十三分、十五日午前十一時二十三分、二十二日午後二時二十四分、二十九日午後九時二十二分。月の入りは、一日午前十一時四十一分、八日午後三時二十六分、十五日午後十時三十三分、二十二日午前四時十九分、二十九日午前十時十五分、



恒 星 界

八月はほゞ舊曆の七月に當り、日没後の天頂には、
 七夕の織女星が純白の明るい光を放ち、
 天の河を越えて、對岸には牽牛星が輝やいてゐる。

南天には「いて」座の不思議な姿が、西に向つて、
 前方を逃げて行く「さそり」座を追ひ、

其れと入れかわつて、東からは「ひつじ」
 「みづがめ」、「ペガス」等が、登つて来る。

北天の極星の上部には「りゅう」座が、かまへ、
 北極星の西には、「おゝくま」、東には「カシオペア」が對し、
 夏の天は、世の總ての人を星に誘ふものであらう。

特に天の川の壯觀は、何ものにも譬へ難く、

「セフェ」から「はくてう」あたりは天の河の複雑な、
 構造を示して居り、「へびつかひ」から「いて」にかけては、

又た、天の川の深みを見せる部分である。

試みに、双眼鏡ででも、此の邊を覗いて見れば、

成る程、尤もとうなづかれるであらう。

